



七本松



会長に就任して

会長 L 藤田 毎馬

暑さ一段と厳しい季節になりました。木之本ライオンズクラブの会員皆様におかれましては、ますますご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび伝統ある木之本ライオンズクラブの第三十九代会長に不肖私がご推挙賜りました。身に余る大任ではございますが、最善を尽くし、精一杯その任を全うする所存でございますので、会員の皆様には御叱正御教導賜りますようお願いいたします。

私は「汗と心で真の奉仕」を今年度の活動テーマに掲げさせていただきます。近年の経済状況の悪化、加えて社会変化の激化はわれわれがかつて経験したことのない時代の波を運んできました。「これまでのやり方」「これまでの考え方・価値観」では社会変化に対応できない時代です。むろん、先人が長年に



一年を振り返って

幹事 L 浅井 悦郎

何も解らないまま幹事を引き受け、流されるがままに、一年が過ぎ去りました。この間メンバー各位にはクラブ運営に関し多大なる御理解と御協力を賜わり有り難う御座いました。改めて厚く御礼申し上げます。私も当クラブに入会させて頂き早や十年が経ちました、入会の翌年の夏、丹生川の鮎でひとときの愉快な時間を皆で過ごした事を思い起こします。私が学生の頃の川開き当日は、交通の便が悪いにも関わらず、川原で寝ずの番をする人、自転車で行く人など、下丹生から針川に至るまで四、五M置きにびっしりの釣人が並んでいたのが、全くの夢の様であります。今では釣人も数えられる程です。

僅か二、三十年の間に、山に大量の杉の木を植樹しただけで、自然のバランスを破壊し、生態系を一変させてしまいました。自然林が無くなり、豊かな山の幸で生活していた猿や熊などの動物が餌を求めて里に

わたって培ってこられた伝統を否定するものではないと思います。古き良きものと、新しい価値観とを融合させた中で生き残りを模索しなければいけないのです。当クラブにおきましても同様のことで、組織としてのあり方を維持・発展させるならば、従来どおりのやり方を見なおす時期がきたのではないかと考えます。私はまずクラブの運営に当たり、本来のライオンズクラブの趣旨・活動とは何かを考え、まずとりかかりとして会費・例会・アクトの見直しを図ることを提案した次第です。今後のライオンズクラブの社会的意義・有り様を会員皆様とともに考え、より良い姿にしていきたいと思います。

下り、農業に多くの被害をもたらせ、自然のダムと云われる山林の保水力が低下し川の水量が少なくなり、遡上の鮎も無くなり、さらに田舎の者も花粉症に悩まされるなど、綿々と続いた自然と同調しての生活が出来なくなってきました。行政は自らの失政を認めず今だに杉の木を造林を続けています。そんな中、木之本ライオンズクラブのアクトとして、環境保全委員会が自然林の復活の為、堀江論さんの指導のもと、ぶなの植樹という新しい取組みに挑戦していただき有難く感謝申し上げます。二十一世紀中に出て来るかどうか分かりませんが、我々が壊した自然の流れを元に戻し、次の世代には山や畑の豊かな実りの収穫の喜びや川や湖での漁の楽しみを味わいたいものであります。今後とも継続していただける事をお願いし、また私の幹事の時に始まったことに意義を感じつつ一年間の反省と致します。有難う御座いました。

本年度役員

(二〇〇二・七～二〇〇三・六)

会長	L 藤田 毎馬
前会長	L 三國 宏
第一副会長	L 平井 與四次
第二副会長	L 橋本 圭祐
第三副会長	L 山口 巖
幹事	L 大林 利男
会計	L 藤田 暢彦
ライオンズマスター	L 北川 雅弘
テールツイスター	L 吉川 信弘
一年理事(副幹事)	L 平井 英之
一年理事(副LT)	L 中村 善隆
二年理事(副TT)	L 八木 富士夫
二年理事	L 田中 達雄
二年理事	L 柴田 丈夫
二年理事	L 田中 通夫
二年理事	L 谷口 安志
二年理事	L 大橋 英一
監査	L 田辺 茂樹

アワード贈呈

地区役員功労賞

L 脇坂 宇市

(3351C地区7R2Zゾーンチェアマン)

メンバーシップキー賞(副賞)

L 平井 英之 (2メンバーキー)

長期会員賞(副賞)

25M L 前田 敏一

15M L 小久保 義男、L 中川 顕

L 柴田 丈夫、L 山口 巖

10M L 橋本 圭祐、L 竹中 一雄

L 浅井 悦郎、L 藤田 保男

L 平井 與四次、L 水上 昭一

1年間皆出席賞

L 藤田 暢彦

多額D・ベスト5

L 藤田 市治、L 北川 雅弘

L 山口 巖、L 三國 宏

L 浅井 悦郎

過年度三役賞

L 三國 宏 (会長)

L 浅井 悦郎 (幹事)

L 中嶋 博 (会計)

L 堀江 諭君の紹介



堀江諭君の紹介をさせていただきます。

彼とは、伊香高校の同級生として、又奥様が同じ下丹生生まれで愚妻と同級生と云う間柄から気楽に付き合わせてもらっています。今回クラブ会員の増強に当り、何とか入会をお願いしたところ、彼は高校の教師として、長年奉職され、母校伊香高校でも長く勤務されました。最近定年退職され、今はお母さんと奥さんの三人家族で悠々自適の生活を楽しんで

おられます。趣味は園芸と聞いておりますが、自宅の近くに「ふる里農園」を作られ無人販売されており趣味の草花や野菜苗等を道行く同志に安く提供され喜ばれています。人望も大変厚く町の役も多々され退職と同時にその方面の仕事が多い様です。現在農業委員として二期目を務められます。又彼は酒を愛し酒豪ですが飲むと楽しく大変愉快な飲み方です。ライオンズクラブの一員として一層活躍されることを期待しております。(L三國 宏 記)



新入会員の紹介

L 上杉 貞信君の紹介



上杉貞信さんは、湖北、湖東地域を中心に建築内装業を幅広く営まれています。私とは仕事を通して懇意にさせて頂いております。ここでは、私の知る氏の人物の一端を御紹介させていただきます。

上杉さんは、昨年度は高月小学校のPTA会長を務められ、また今年度森本区の区長をされるなど地域社会の教育や生活に献身的に貢献されております。PTA会長の時には、児童の通学時の防犯の問題や親子のふれあい活動などに熱心に取り組まれました。

趣味の旅行は、サハリン、ウラジオストクに二度、佐渡島に二度行かれるなど有名な観光地より少しマニアックなところが好みのようです。時々、仕事で一緒にいるのですが、いつも親切丁寧で迅速な仕事ぶりや研究熱心さには大変感心します。私も名前が似ているというだけでなく見習うべき事が多々あります。上杉さんの今後のさらなるご活躍を期待致しまして、紹介とさせていただきます。(L 上杉 貞浩 記)

